



御調八幡宮 (写真提供: 藤原敏明 様)

ごあいさつ

三原地区保護司会 副会長 米持 清



昨年は新年早々から新型コロナウイルス感染症が拡大し、4月には全国に緊急事態宣言が発せられ、学校や職場を含むあらゆる領域で活動自粛を求められました。その後、

一旦は収束したかと思われましたが、第2波・第3波と流行が再燃し、以前のような活動ができないうまで年を越しました。

さて私たちの三原地区保護司会は、三原市と世羅町の保護司61名で構成されています。どこの保護司会でもそうでしょうが、私たちも制約を受けて例年のような活動ができず、できても規模の縮小と感染防止対策を講じた上での限られた活動となりました。

しかし私たちはこの機会に、組織の活性化を図

り保護司会が組織としての機能をより一層充実させるために、次の4点の改善策を考えて実行し始めました。

- ①役員会（理事会及び三役会議）の定例化
- ②組織や会則等の見直しと分掌の明確化
記録をきちんと残し、活動の継続性の確保
- ③全国的な課題でもある保護司の定数確保に向けた取り組みを今まで以上に強化
- ④「再犯の防止等の推進に関する法律」の実効化に向けての取り組みの推進

今後とも、広島保護観察所はもとより、三原地区更生保護女性会やBBS会・協力雇用主会との連携をより深めるとともに、三原市・世羅町行政との連携と協力関係を一層深めていきたいと考えています。皆様方の一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

ごあいさつ

三原市長 岡田 吉 弘



更生保護に携わる皆様には、日頃から犯罪や非行のない安心安全なまちづくりに多大な貢献をいただき、その献身的な取組みに心から敬意を表しますとともに、心から感謝申しあげます。

罪を犯してしまった人が社会に復帰するには、地域の理解と援助が必要です。そして、しっかりと支えていくには、専門的な見地や豊富な経験に加えて、並々ならぬ熱意が必要とされます。

犯罪予防と更生保護のために、日夜、社会奉仕の精神と温かさを持って活躍されている保護司の皆様をはじめ、更生保護事業に関わる皆様の御尽力が何より重要となります。

先般、法務省は、昨年までの犯罪情勢をまとめた2020年版犯罪白書を公表し、昨年1年間に検挙された刑法犯のうち、65歳以上の高齢者の割合が過去最悪の22.0%に上ったと発表されました。刑法犯は、17年連続で減少している中、高齢者人口の増

加が犯罪の高齢化に影響しているとのことでした。

こうした中、本市では、長期総合計画に「安心して快適・安全に住み続けられるまち」を掲げ、また、再犯防止推進計画の策定に向けた検討を進めているところでございます。

犯罪をした人が地域で孤立しないよう、地域社会の一員として受け入れ、立ち直ろうとする人が円滑に社会復帰できるよう支援し、誰一人犯罪に巻き込まれることのない安全・安心なまちづくりを目指し、関係者との連携や協力関係により、全力で取組みを推進してまいります。誰もが安心して暮らせる社会とは、社会全体で助け合ってこそ、成り立つものではないかと思えます。

今後とも犯罪や非行のない明るく住みよい地域社会づくりのため、助けを必要としている人に寄り添いながら、安心安全な環境づくりに向けて、皆様の一層お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、更生保護に携わる皆様の更なる御健勝と御活躍を祈念いたします。

三原地区更生保護顕彰式を開催

令和2年11月25日（水）午後、令和2年度更生保護顕彰式を三原市市民福祉会館で開催しました。

三原地区保護司会 藤田会長の開会挨拶で始まり、岡田三原市長・奥田世羅町長はじめ、大下三原警察署長・池尾世羅警察署長・坂元三原地区協力雇用主会会長など、多くの来賓の方々のご挨拶・祝辞をいただきました。

また、保護司会及び更生保護女性会の功労者表彰が行われ、三原地区更生保護女性会 信行会長の閉会の挨拶で会を閉じました。



岡田三原市長ご挨拶



奥田世羅町長ご挨拶



山田保護観察所長ご挨拶

ごあいさつ

世羅町長 奥田正和



近年、私たちを取り巻く情勢は大きく変化しています。少子高齢化の波が全国を襲い、かつてのような経済成長が望めない中、貧困や厳しい生育環境等の要因により、

社会の中で生きづらさを抱える者たちの手による犯罪が社会を脅かしています。

刑法犯認知件数が戦後最低基準を更新する一方再犯者による犯罪(再犯者率)は増加の一途を辿っています。社会の中で生きづらさを抱えた少数の者が繰り返し犯罪に手を染めてしまっています。その多くは窃盗や傷害、薬物犯罪ですが、その中の一部が不幸にも重大な犯罪に発展してしまうこともあります。

犯罪や非行を防止するためには、家族や学校、地域住民全体が犯罪防止・更生活動に理解を深め、相互に協力し合うことが不可欠です。しかしながら、こうした方々をしっかりと支えていくには、専門的な見地や豊富な経験に加えて並々ならぬ熱

意が必要とされています。

そのような意味でも、犯罪予防と更生保護のために、日夜、社会奉仕の精神と温かさを持って活躍されている保護司の方々をはじめ、更生保護事業に関わる方々の御尽力が何より重要です。皆様の方で、社会に復帰された方々がたくさんいます。そうして立ち直った方々が自分のやりたいことを見つけ、誰かのためにという志をもって社会で暮らしていく、そんな環境を社会全体で充実させていくことが求められます。こうした中、皆様が行っている生活相談や社会復帰への支援などの保護司業務は誠に意義深く、心から敬意を表します。

平成28年12月には再犯防止推進法が公布・施行されました。町としても、地方再犯防止推進計画の策定を進めているところでございます。安心・安全な町づくりに尽力してまいります。今後とも犯罪や非行のない明るく住みよい地域社会づくりのため、助けを必要としている方々に寄り添いながら、よりよい町づくりに向けて、一層お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

三原地区保護司会の中山信弘さんが秋の褒章で藍綬褒章を受章されました。

祝 藍綬褒章 中山信弘さん



藤田保護司会長開会挨拶



信行更生保護女性会長閉会挨拶

広島県更生保護功労者表彰 (敬称略)

法務大臣表彰	小島 照行・望月 寧子
全国保護司連盟理事長表彰	分野 達見・有田 征朗
中国地方更生保護委員会委員長表彰	仁ノ内一義
中国地方保護司連盟会長表彰	米持 清・竹井 浩二
広島保護観察所長表彰	小谷 章一・潮 清史 橋澤 浩二
広島保護観察所長感謝状 (家族功労者)	白雲 節子・兼光 由江
広島県保護司連合会長表彰	石川 弥生・尾美伸一郎 松浦 邦夫



活動の報告

11月18日（水）、広島保護観察所森山次長、広島矯正管区歳森課長のご両名と共に藤田会長が、13時より奥田世羅町長、14時20分より岡田三原市長を表敬訪問しました。30分程度の限られた時間でしたが、平成29年12月に閣議決定された再犯防止推進計画策定のお願いと、三原地区保護司会活動報告等を行いました。



奥田世羅町長を表敬訪問



岡田三原市長を表敬訪問

保護司退任に寄せて

大和ブロック 望月 寧子



去る11月30日をもちまして、無事に卒業することができました。これもひとえに皆様方のご指導の賜物と感謝いたしております。ふり返りますと平成10年の東広島地区でのスタートから今日までの22年間は、長いようで短く、光陰矢の如しという言葉がうかび

ます。保護司となって7年目には、市町の広域合併があり戸惑ったこともありました。

ちょうどその頃は、中学校や高校の荒廃の中、忙しく対象者と対話したことも懐かしく思い出されます。いろいろと心配の尽きなかった対象者が、のちに社会人としてしっかりと自立をして、結婚の報告に来てくれたときの嬉しさは今でも忘れられません。

私にとってこの22年間は苦労もありましたが、かけがえのない宝物となりました。あとは若い方々にバトンをお渡しします。三原地区保護司会の更なるご発展と会員の皆様方のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

退任者紹介

望月 寧子（平成10年12月～）・村上 敏子（平成5年8月～）
水兼 香苗（平成20年12月～）・代田 三委（平成9年6月～）
長い間たいへんお世話になりました。心よりお礼申し上げます。

新任保護司の紹介

12月1日付で2名の方を会員に迎えました。これから一緒にがんばりましょう。

川中 真吾さん
（三原4ブロック）



河野 克典さん
（三原4ブロック）



本郷ブロックの活動紹介

本郷ブロックは、本郷町内の保護司6人で構成されています。

保護司だけの活動としては、年1～2回の研修会、年4回の本郷中学校前でのあいさつ運動などです。研修会といっても堅苦しいものではなく、担当しているケースで困っていることやどうしたらよいか迷うことを話し合い、親睦を深め交流しています。同じ町内の保護司同士なので、自分が知らないことを教えられたり教えたりの有意義な研修です。

あいさつ運動は、安心安全本郷協議会に本郷ブロックも参画し、交通安全運動を実施する指定日に、朝7時から8時まで、本郷中学校前で登校してくる生徒にあいさつ運動をしています。

その他に本郷ブロック保護司と更生保護女性会が協力して、6月末の「社会を明るくする運動」の幟旗たて、7月中旬の沼田本郷夏まつりでの「社会を明るく運動」啓発活動、年に数回、安心安全の町内青色防犯パトロールを行っています。

これらの活動を通して、保護司同士の信頼を深め、お互いに連絡し合える関係になっていると思っています。更生保護女性会ともお互いの活動を知り、支え合う関係になっています。今後とも活動が継続・発展するようにしたいと思っています。



本郷中学校前でのあいさつ運動



社会を明るくする運動の幟旗たて活動

久井ブロックの活動紹介

更生保護女性会との活動は、毎年、秋に研修会を開催していますが、今年は10月24日の午後、久井ブロックでは更生保護女性会久井地域・くい環境会議とともに研修会を開きました。久井コミュニティセンターを会場にして25人の参加者でした。

まず、更生保護女性会の法堂陽子ブロック長が、更生保護女性会の役割や未加入者の入会促進の挨拶をされました。その後、保護司会からは再犯防止に向けた取り組みや協力依頼の話をしました。内容は、犯罪件数は減少傾向にあるが、再犯率が高いので、社会の受け入れ態勢の充実が大切であることを説明しました。くい環境会議は、簡単にできるエコクッキングの大切さを知ってもらうために、調理方法の紹介や実演がありました。

今後の活動としては、保護司会・更生保護女性会共同で久井中学校3年生への卒業記念品の贈呈を予定しています。



更生保護女性会 久井ブロック長の開会挨拶



エコクッキング指導

SST研修会の御案内**SST初級認定研修 (10時間)**

この度、(更)日本更生保護協会と(社)全国保護司連盟の助成による、三原地区保護司会会員を対象としたSST初級認定研修を、右記の通り行います。

この研修会は、全国でわずか数か所の保護司会を対象に開かれるたいへん貴重な研修会です。今後、この研修会が三原地区保護司会を対象に開催されることは、難しいと思われまます。

この初級研修は、保護司自身が対象者との面接する力を高めることを、主な目的にしています。

しかし対象者との面接場面だけでなく、日常生活・職場・地域におけるコミュニケーションツールとして必ず役に立ち、自分自身を高める機会になると思いますのでふるってご参加ください。

記

- 1 開催日時
令和3年2月26日(金)・27日(土)の2日間
両日とも10:00～16:00
※1日だけの参加は不可
- 2 会場
三原市市民福祉会館5階
- 3 申込締切日
令和3年1月29日(金)
- 4 申込先
三原地区サポートセンター
TEL・FAX (0848-62-5515)
兼光一美 (090-9735-0088)
※両日とも、昼食・お茶は準備しています。

※新型コロナウイルスの感染拡大により、人の集まりが難しい状況となった場合には、やむなく研修会を中止することがあります。

SST (Social Skills Training) とは

ソーシャル・スキルとは、ごく簡単に言えば、人が生きていく上で必要となる、人間関係やコミュニケーションに関わる「技術」「技能」のことです。

このスキルは、訓練によって身に付けていくことができると考えられていますが、そのトレーニングのことをSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)と言い、学校や療育施設、病院などの他に、刑務所・少年院等の矯正施設でも取り入れられています。

人は沢山のひととの出会いや経験から無意識的に「していいこと・いけないこと」などの社会的ルールを身に付けていきますが、様々な理由からルールを身に付けることが困難な方、苦手な方々に、ルールを身に付けやすいように考案された手法です。

例えば、指示を理解したり判断したりするのが難しい方や、自分の行動のコントロールが苦手な方、コミュニケーションが苦手な方などに対し、ゲームやロールプレイ等によって楽しみながらゴールに向かう過程で、社会に必要なスキルを学んでいきます。

**編集後記**

令和2年は新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行に翻弄された年でした。有効なワクチンがまだ十分に普及されず越年しました。令和3年こそ、この感染症に対する有効な対策が打ち立てられ、日常生活が戻ることを祈りながら第2号を発刊しました。お忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆様方に心よりお礼申し上げます。

■ お問い合わせ先

三原地区保護司会 事務局
〒723-0141
三原市沼田東町兩名296-1
サポートセンター
三原市市民福祉会館 4階
TEL・FAX **0848-62-5515**